

第47期（2021年4月期）第2四半期 決算補足説明資料

ヤーマン株式会社

企業スローガン、ミッション	1
業績ハイライト	3
セグメント別売上	4
セグメント別営業利益	5
売上構成	6
財務ハイライト	7
第3四半期以降の取り組み	8
業績予想について	10
配当について	11
連結子会社からの事業譲受けと同社の解散について	13

企業スローガン

美しくを、変えていく。

すべての人には美しく輝く力がある。
その力を目覚めさせ、今日より美しい明日を叶えるために。

私たちは1978年の設立以来、
エステサロンで選ばれる美容機器を作り続け、
その高度な技術を活かして自宅でできる本格エステを実現。
そのクオリティは日本ではもちろん、世界で広く愛されています。

これからも時代の先をゆく美のプロフェッショナルとして、
先端テクノロジーと常識を変えるアイデアで美しくなる
夢や驚きをお届けしていきます。

ミッションステートメント

美しさを実現するものづくり。

それを生むのは、尽きることのないアイデアと卓越した開発力です。

理想の美しさをかなえ、世界中に夢や驚きを届けるために、

私たちは新しい「美のカタチ」を追求し続けます。

業績ハイライト

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実店舗の売上が苦戦する一方で、巣ごもり消費によりECを中心とした通信販売が売上を増加させるなど、お客様の消費行動に変化が起きました。このような中、当社の多種多様な製品ラインナップがお客様のニーズにマッチしたことや、当社が長年にわたって取り組んできた販売チャネルの多角化が奏功してリスク分散が図られたこと、特別給付金効果による需要捕捉に成功したことなどから、売上・利益ともに前年同四半期から大きく伸長する結果となりました。

回次	第45期 第2四半期 2018年5月1日 ～ 2018年10月31日	第46期 第2四半期 2019年5月1日 ～ 2019年10月31日	第47期 第2四半期 2020年5月1日 ～ 2020年10月31日	【ご参考】 第46期 2019年5月1日 ～ 2020年4月30日
売上高（千円）	15,241,530	11,516,777	18,727,992	22,975,758
営業利益（千円）	4,233,342	1,721,229	4,026,493	2,504,326
営業利益率（%）	27.8	14.9	21.5	10.9
経常利益（千円）	4,266,593	1,634,560	3,948,475	2,310,752
親会社株主に帰属する当期純利益 （千円）	2,626,652	952,763	2,354,895	1,322,586
1株当たり当期純利益（円）	46.16	17.03	42.80	23.66

セグメント別売上

当社は、通販・店販・直販・海外の4つの販路それぞれの伸長を目指すとともに、その時々
 の状況に応じてセールスマックスの最適化を図っていくことを基本的な方針として
 おります。店販部門は免税店の落ち込みを家電量販店などでカバーすることができず
 減収減益と苦戦しましたが、直販部門・海外部門が巣ごもり消費によるECの好調から
 大幅な増収増益となったほか、通販部門も堅調な売上となり増収増益で着地
 しました。

回次	第45期 第2四半期 2018年5月1日 ～ 2018年10月31日	第46期 第2四半期 2019年5月1日 ～ 2019年10月31日	第47期 第2四半期 2020年5月1日 ～ 2020年10月31日	【ご参考】 第46期 2019年5月1日 ～ 2020年4月30日
通販部門（千円）	1,944,749	2,455,129	2,733,898	4,418,156
店販部門（千円）	5,826,087	4,064,717	3,497,742	6,827,885
直販部門（千円）	2,587,531	2,258,861	6,657,120	5,844,244
海外部門（千円）	4,688,729	2,258,775	5,491,269	4,903,788
その他（千円）	194,432	479,293	347,961	981,682
合計（千円）	15,241,530	11,516,777	18,727,992	22,975,758

セグメント別営業利益

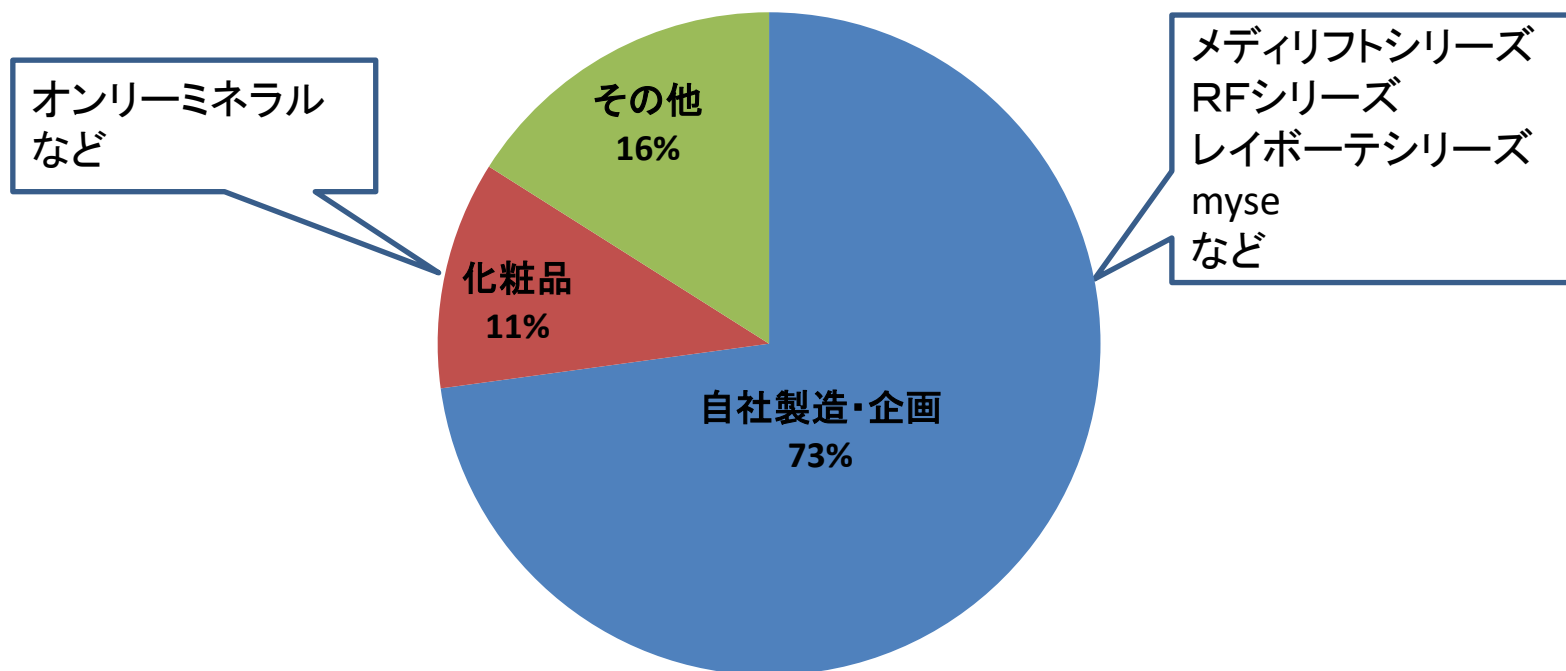
回次	第45期 第2四半期 2018年5月1日 ～ 2018年10月31日	第46期 第2四半期 2019年5月1日 ～ 2019年10月31日	第47期 第2四半期 2020年5月1日 ～ 2020年10月31日	【ご参考】 第46期 2019年5月1日 ～ 2020年4月30日
通販部門（千円）	862,161	997,483	1,190,028	1,678,352
店販部門（千円）	2,697,426	1,471,460	1,017,393	2,045,803
直販部門（千円）	1,156,161	931,955	3,011,411	2,131,251
海外部門（千円）	2,311,018	687,550	2,078,950	1,631,437
その他（千円）	△3,585	△63,982	△81,611	△141,994
調整額（千円）	△2,789,840	△2,303,236	△3,189,678	△4,840,524
合計（千円）	4,233,342	1,721,229	4,026,493	2,504,326

売上構成

当第2四半期における売上構成は、自社開発製品及び自社企画製造委託品が73%、化粧品が11%、その他仕入品などが16%となりました。

RFシリーズが安定した売上进行したほか、レイボーテ（光美容器）シリーズが大きく売上进行しました。

また、メディリフト（ウェアラブル美顔器）シリーズや「オンリーミネラル」などの化粧品も堅調な売上进行しました。



財務ハイライト

新型コロナウイルスの感染拡大の影響が長期化することを見据え、不測の事態に備えて運転資金に充当するため、2020年5月に銀行借入により25億円の資金調達を行った結果、現預金及び有利子負債が増加しております。

また、売上規模の拡大に伴い、売上債権、棚卸資産、仕入債務がそれぞれ増加しました。

回次	第45期 第2四半期 2018年10月31日	第46期 第2四半期 2019年10月31日	第47期 第2四半期 2020年10月31日	【ご参考】 第46期 2020年4月30日
総資産（千円）	19,421,125	17,842,681	24,966,195	17,292,977
純資産（千円）	13,299,165	13,669,024	15,616,792	13,361,715
自己資本比率（%）	68.5	76.6	62.6	77.3
現預金（千円）	9,890,117	8,938,657	12,733,155	7,632,507
売上債権（千円）	3,148,398	3,264,744	4,056,274	3,022,126
棚卸資産（千円）	2,236,601	2,178,957	3,234,954	2,034,177
仕入債務（千円）	2,383,335	1,453,072	3,335,254	1,622,527
有利子負債（千円）	793,563	625,248	2,926,805	534,409

第3四半期以降の取り組み

新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりお客様の消費行動が大きく変わった結果、当社はその恩恵を受ける形で上半期の売上を大きく伸ばすことができましたが、当社を取り巻く経営環境は未だ変化の途上にあることから、今後の売上に繋げるための投資については更に積極的に行ってまいります。

研究開発では、将来を見据えた新しいカテゴリの創出を目指して、自社の研究開発部門を充実させるほか、国内外の外部研究機関との共同研究開発にも力を入れてまいります。

グローバルブランドとして、これまで以上に国内外のお客様に安心してご購入いただくため、品質管理体制の維持・向上にも注力してまいります。

広告宣伝では、テレビCM広告・交通広告・EC関連広告を積極的に展開し、個別の製品はもちろん、長期的な視点でヤーマンブランドの認知度を向上させていくための取り組みを強化いたします。

また、自社ブランドだけではなく、総代理店として展開できる新たなブランドを国内外で発掘していくとともに、マーケティングリサーチなども進めてまいります。

新型コロナウイルス感染症拡大第3波の懸念もある中、非常に厳しい環境下ではありますが、M&Aや資本提携など企業価値向上のための投資機会を継続的に検討していくとともに、売上高の更なる伸長と営業利益率20%の確保を目標とし、グローバルブランドカンパニー・ヤーマンの実現を図ってまいります。

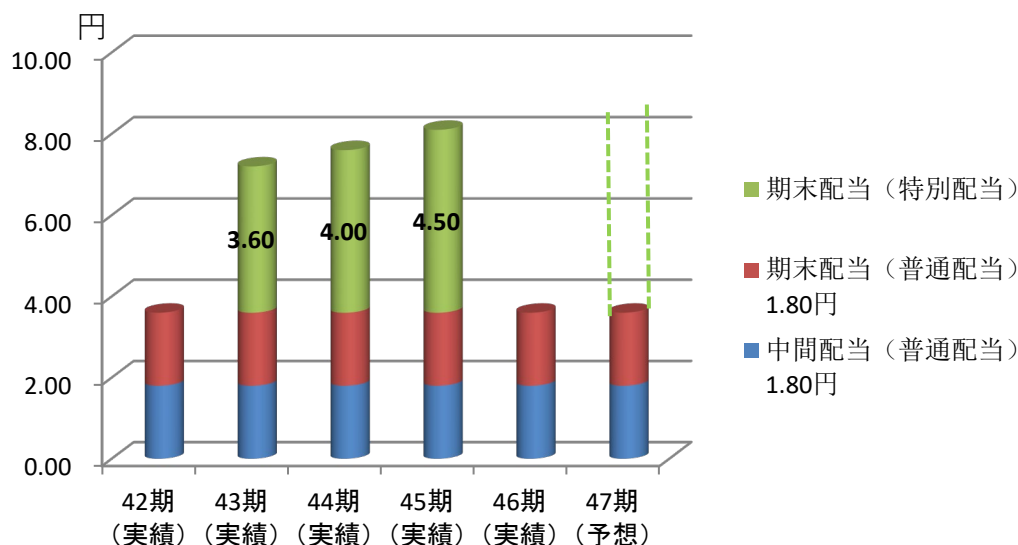
業績予想について

2020年11月17日に開示した業績予想に変更はありませんが、今後修正が必要と判断した場合には、速やかに公表する予定です。

	通期	
	金額	対前年同期増減率 (%)
売上高（百万円）	35,000	52.3
営業利益（百万円）	5,800	131.6
経常利益（百万円）	5,631	143.7
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	3,420	158.6
1株当たり当期純利益（円）	62.17	—

配当について

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと位置付けており、配当金につきましては、毎期安定的、継続的な実施を原則とし、期中の業績等を総合的に勘案して決定することとしております。



(注) 当社は、2017年11月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っており、右記の1株当たり配当額は、当該分割の影響を加味したものです。

第47期（2021年4月期）の中間配当につきましては、2020年12月11日開催の取締役会決議に基づき、予想どおり1株当たり1.8円とさせていただくこととなりました。

期末配当につきましては、前頁でもご説明しておりますとおり、通期の業績等を総合的に勘案して決定する方針です。

* 基準日	2020年10月31日
* 支払開始予定日	2021年1月5日
* 1株当たり金額	1.80円
* 配当金の総額	99,038千円

連結子会社からの事業譲受けと同社の解散について

当社は、2020年10月17日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社ディーフィット（以下、「ディーフィット社」という。）より事業の全部を譲受け、同社は事業譲渡手続き完了後に解散することを決議いたしました。

当該決議により締結した事業譲渡契約に基づき、2020年12月1日付でディーフィット社から事業を譲受けております。

2018年8月31日にディーフィット社の発行済株式の100%を取得して子会社化してから、店舗運営や販路の拡大などで協力し合いながら、「まかないこすめ」ブランドのリブランディングに投資を行い、新ブランド「MAKANAI」のローンチの準備を進めてまいりました。

しかしながら、今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ディーフィット社の主たる販路である店舗での売上が大きく落ち込み、先行きの見通しも立たない状況となったことから、当社が同社の事業の全部を譲受けたうえで同社を解散し、当社の化粧品ブランドの一つとして存続を図ることが、グループ経営の効率化の観点から合理的であると判断いたしました。

なお、本事業譲受け及びディーフィット社の解散に係る損失につきましては、現時点での見込み額**485**百万円を、特別損失として第2四半期連結累計期間の業績及び通期連結業績予想に反映させております。

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等については、様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料は皆様への情報提供を目的としており、投資を勧誘するものではありません。
- 本資料のご利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料のご利用の結果生じたいかなる損害についても、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。